

【C年^{ねん}】

聖霊^{せいれい}降臨^{こうりん}日^び

次のいずれか一つを用いる。

全能^{ぜんのう}の神^{かみ}よ、この日^ひ、あなたは約束^{やくそく}された聖霊^{せいれい}の降臨^{こうりん}によって、すべての民族^{みんぞく}、国民^{こくみん}に永遠^{えいえん}の命^{いのち}の道^{みち}を開^{ひら}けました。どうか福音^{ふくいん}の宣教^{せんきょう}によって、この聖霊^{せいれい}がますます世界^{せかい}に注^{そそ}がれ、地の果^はてにまで広^{ひろ}がりますように。聖霊^{せいれい}の一致^{いつち}のうち、父^{ちち}と一体^{いつたい}であり、世^よ々に生き支配^{しはい}しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

神^{かみ}よ、あなたはこの時^{とき}に聖霊^{せいれい}を降^{くだ}し、そのみ光^{ひかり}によって民^{たみ}の心^{こころ}を照^てらしてくださいました。どうかわたしたちも同じ聖霊^{せいれい}によって正^{ただ}しく万^{ばん}事をわきまえ、常^{つね}にそのみ助けを喜^{よろこ}ぶことができますように。父^{ちち}と聖霊^{せいれい}とともに一体^{いつたい}であって世^よ々に生き支配^{しはい}しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

司祭^{しさい} 「聖書^{せいしょ}のみ言葉^{ことば}を聞きましよう」

会衆^{かいしゅう}は着席^{ちゃくせき}する。

聖書^{せいしょ}

朗読^{ろうとく}者^{しや} 「聖書^{せいしょ}は使徒^{しと}言行^{ぎんこう}録^{ろく}二章^{しやう}一節^{せつ}から」

1 五旬^{ごじゆん}祭^{さい}の日^ひが来^きて、一同^{いちどう}が一つになつて集^{あつ}まつていると、2 突然^{とつぜん}、激^{げき}しい風^{かぜ}が吹^ふいて来^くるような音^{おと}が天^{てん}から聞^きこえ、彼^{かれ}らが座^{すわ}つていた家^{あわ}中に響^{ひび}いた。3 そして、炎^{ほのお}のような舌^{した}が分^わかれ分^わかれに現^{あらわ}れ、一人^{ひとり}一人^{ひとり}の上^{うへ}にとどまつた。4 すると、一同^{いちどう}は聖霊^{せいれい}に満^みたされ、「霊^{れい}」が語^{かた}らせるままに、ほかの国^{くに}々の言葉^{ことば}で話^{はな}しました。

5 さて、エルサレム^{えるさるむ}には天下^{てんか}のあらゆる国^{くに}から歸^{かえ}つて来^きた、信心^{しんじん}深いユダヤ人^{じん}が住^すんでいたが、6 この物音^{ものおと}に大勢^{おほぜい}の人^{ひと}が集^{あつ}まつて来^きた。そして、だれもかれも、自分^{じぶん}の故郷^{こきやう}の言葉^{ことば}が話^{はな}されているのを聞^きいて、あつけにとられてしまつた。7 人々^{ひとびと}は驚^{おどろ}き怪^{あや}しんで言^いつた。「話^{はなし}をしているこの人^{ひと}たちは、皆^{みな}ガリラヤ^{ガリラヤ}の人^{ひと}ではないか。8 どうしてわたしたちは、めいめいが生^うまれた故郷^{こきやう}の言葉^{ことば}を聞^きくのだらうか。9 わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者^{もの}があり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、10 フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接^{せつ}するリビア地方^{ちほう}などに住^すむ者^{もの}もいる。また、ローマから来^きて滞^{たいざい}在中^{ちゆう}の者^{もの}、11 ユダヤ人^{じん}もいれば、ユダヤ教^{きやう}への改宗^{かいしゅう}者^{しや}もあり、クレタ、アラビアから来^きた者^{もの}もいるのに、彼^{かれ}らがわ

たしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」

朗読者 「聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第一〇四編 三〇節～三五節

30 あなたが息を送られると、すべては生き＝ 地の面は新
たになる
31 主の栄光はとこしえに＝ 主がそのみ業を喜ばれるよ
うに
32 神が注がれると、地は揺れ動き＝ 山々に触れられる
と煙を吐く
33 わたしは生涯、主に向かって歌い＝ 命ある限り神を
たたえよう
34 わたしの思いが神に喜ばれるように＝ わたしは主の
うちにあつて喜ぶ
35 罪人が地上から姿を消し、悪人がいなくなるように＝
主をたたえよ、わたしの魂よ、ハレルヤ

使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒の手紙Ⅰ 第十二章四節
から」

4 賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるの
は同じ霊です。5 務めにはいろいろありますが、それをお与
えになるのは同じ主です。6 働きにはいろいろありますが、
すべての場合にすべてのことをなさるのは同じ神です。7 一
人一人に“霊”の働きが現れるのは、全体の益となるため
です。8 ある人には“霊”によって知恵の言葉、ある人には同
じ“霊”によって知識の言葉が与えられ、9 ある人にはそ
の同じ“霊”によって信仰、ある人にはこの唯一の“霊”に
よって病気をいやす力、10 ある人には奇跡を行う力、あ
る人には預言する力、ある人には霊を見分ける力、ある人
には種々の異言を語る力、ある人には異言を解釈する力
が与えられています。11 これらすべてのことは、同じ唯一
の“霊”の働きであつて、“霊”は望むままに、それを一人一人
に分け与えてくださるのです。
12 体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分
の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合
も同様である。13 つまり、一つの霊によって、わたしたち
は、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、奴隷である

うと自由な身分の者であろうと、皆一つの体となるために
洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第二〇章十九節以下に記さ
れた主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダ
ヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そ
こへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があ
るように」と言われた。20 そう言って、手とわき腹とお見
せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ね
て言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたし

をお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」
22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊
を受けなさい。23 だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪
は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦
されないまま残る。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」